



学校教育目標

自ら学び たくましく生きる 心豊かな児童の育成

めざす児童像

よく学ぶ子 強くたくましい子 力を合わせる子

重点目標

確かな学力

- ◎引き出す・楽しむ教育の推進
- 思考力・表現力の育成
- 基礎学力の充実

心の教育

- ◎魅力ある学校づくりの推進
- 人権・道徳教育の充実
- 特別支援教育の推進

健康・安全

- ◎体力づくりの推進
- 生活習慣向上の推進
- 食育の推進

地域との連携

- ◎地域人材の活用の充実
- 保幼小中の連携の推進
- デジタル・シティズンシップ教育の実践

互いに認め合い、自己肯定感を育む教育の推進

具体的な取組み

- ・ペアやグループでの対話的な活動を積極的に取り入れる。
- ・文章の読み書きやスピーチ活動を通して、読解力、思考力、表現力を高める。
- ・ICT機器を積極的に活用する。
- ・学期ごとに漢字・計算テストを実施し、基礎学力の定着を図る。
- ・家庭学習の習慣化により、基礎学力の充実を図る。
- ・朝読書や家庭での読書を推進し、読書活動の充実を図る。

- ・「絆づくり」・「居場所づくり」を大切にした活動や学校行事を工夫する。
- ・学校教育全体を通して人権教育を推進し、豊かな情操を育成する。
- ・3あ運動（あいさつ・あんぜん・あとしまつ）の定着に努める。
- ・「いじめゼロ宣言」で、不登校、いじめ等の未然防止に努める。
- ・道徳の時間の充実を図る。
- ・特別支援体制を充実し、個に応じた支援を行う。

- ・運動に興味・関心を持たせ、体力向上に努める。
- ・児童の外遊びを推奨し、運動の習慣化を図る。
- ・「早寝・早起き・しっかり朝ごはん」を柱に、家庭と連携して、規則正しい生活習慣を身につけさせる。
- ・地域と連携し、安心・安全な環境づくりに努める。
- ・感染症予防対策に努める。

- ・地域の人材・施設・教材を生かしたふるさと教育を推進する。
- ・HPやお便り等を通して、学校の情報を発信し、開かれた学校づくりに努める。
- ・連携協議会や交流を定期的に開催し、保幼小中の連携に努める。
- ・ICT機器を用いて自分で行動するスキルを身につけさせる。

数値目標

- ・自分の考えを発表したり書いたりできる児童 80%以上
- ・家庭での読書活動ができている児童 80%以上

- ・学校が楽しいと感じる児童 90%
- ・すすんで挨拶できる児童 90%
- ・友達の気持ちを考えた言葉遣いや行動ができる児童 90%以上

- ・すすんで体力向上に取り組むことができる児童 90%
- ・規則正しい生活を心がけている児童 90%以上

- ・地域人材・施設・教材を生かした授業を2回以上 80%以上
- ・地域の活動で交流できている児童 60%